

平成25年度 日野川流域林業まつり 森林学講座開催しました



鳥取県緑の産業再生プロジェクト日野川流域部会（事務職=NPO法人フォレストアカデミージャパン）では、平成25年10月26日（土）、平成25年度日野川流域林業まつり（森林学講座）を、日南町林業総合センターにて開催いたしました。この際、町内外より多数の林業関係者の来場を頂きました。

冒頭の挨拶で、日野川流域部会長 入澤氏より、日南町が取得しているFSC（国際機関による森林認証）は全国でも稀な大規模であること、今後も付加価値のある森林育成に力を入れていくことの説明がありました。

また、今回の講演・発表内容は下記の通りです。

講演

全国植樹祭を振り返り、そして日野地域の森林林業について
鳥取県西部総合事務所 日野振興センター日野振興局副局長
兼農林業振興課長 池内富久氏

発表

FSC監査から学ぶこと 日南町森林組合 藤原孝志氏

鳥取県農林総合研究所林業試験場における研究成果の発表

- 1 これからの森林施業を考える～長伐期施業と皆伐・再造林～
場長 大西 良幸氏
- 2 林業機械における労働安全 ～リスクについて～
主任研究員 山増 成久氏
- 3 とっとり県産材“内装材利用のすすめ”
主任研究員 川上 敬介氏

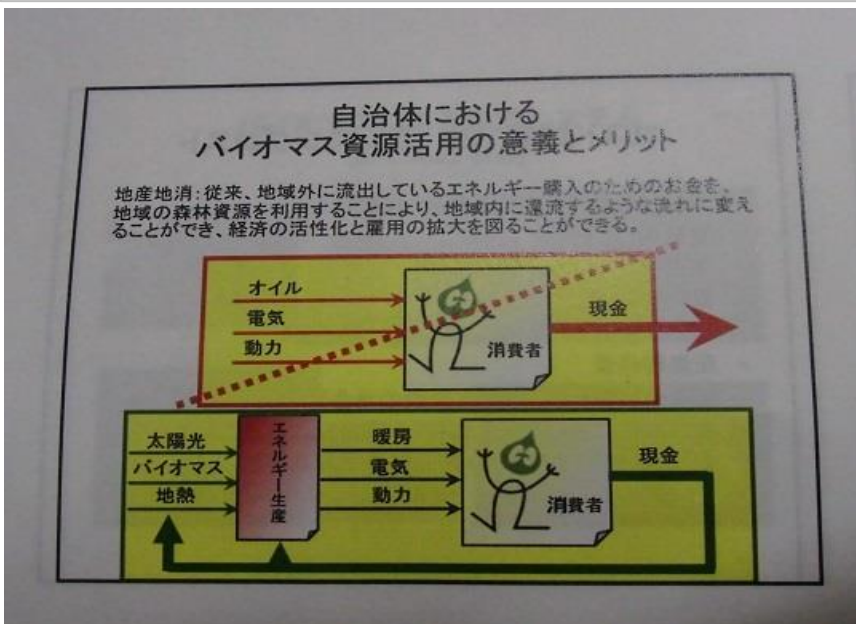
今年、鳥取県で行われた全国植樹祭に於いてもありましたように、森林への関心は単に林業経営としてだけではなく、環境面に重点が置かれて来ています。

日南町においても、未来を見据えた市場に求められる林業体系の構築が必要になっています。今後の林業経営に大いに役立てたい所です。



森林学講座の様子は、10月20日開催の日野川流域林業まつりと合わせて日刊木材新聞に掲載されました。

・・・木質バイオマスエネルギーを利用したモデル地域づくり研究・・・ ESCO事業の検討会を行いました



日南町では、豊富な森林資源を活かした木質バイオマスエネルギーを利用したモデル地域づくりを目指し、協議会を設置して検討を重ねています。

これは林野庁より受託した調査事業で、地域にエネルギー供給会社を立ち上げ、町より産出される木質チップによりボイラーを動かすことで化石燃料の消費を減らし、また森林の有効活用と地域活性化を目指したものです。

前回、10月に行われた検討会に引き続き、事業主体を目指す(株)オロチ、(株)森のエネルギー研究所、日南町役場他、協議会参加者により日南町における事業の可能性について検討が行われました。